

産業廃棄物処理計画書

R7 年 5 月 15 日

熊 本 県 知 事 殿

提出者
住所 熊本県天草市港町11番6号
氏名 合資会社 山下産業
代表社員 松下真一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0969-22-2476

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

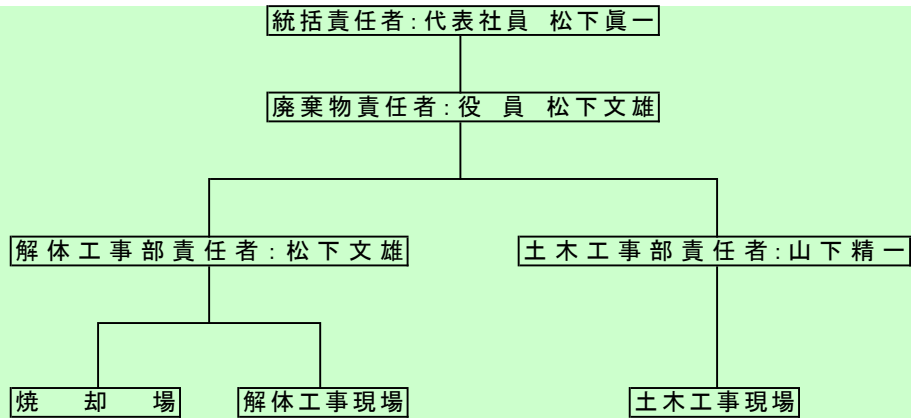
事業場の名称	合資会社 山下産業
事業場の所在地	熊本県天草市港町11番6号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業				
② 事業の規模	前年度完成工事高 ¥ 2 1 7 , 7 7 1 , 0 0 0 -				
③ 従業員数	1 0 名				
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>工事現場</div> <div>運搬: 自社運搬</div>	木くず	自社処分場	焼却灰	マルエ工業
			中間処理(焼却)		中 間 処 理 造 粒 ・ 固 化
		木くず	自社処分場		嘉六屋 鹽
			中間処理(切断)		燃料用資材
		ガラコン・陶磁器くず・ガラス類			(株)アセフト (有)木村建材
					中 間 処 理 破 砕 ・ 分 級
		廃プラ・がれき類			(有)天草産廃
					最 終 処 分 安 定 型 埋 立
		石膏ボード類			(株)成和開発
					中 間 処 理 破 砕 ・ 分 級
		がれき (瓦類)			自社処分場
					最 終 処 分 安 定 型 埋 立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度（ 6 年度 ）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	191.78 t	2.41 t	5.60 t	1,070.99 t	11.84 t	0.28 t		
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量								
	(これまでに実施した取組)								
分別の徹底による再資源化									
② 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	180.00 t	5.00 t	5.00 t	1,050.00 t	11.00 t	0.50 t		
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量								
	(今後実施する予定の計画)								
分別の継続・徹底									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<p>種 類</p> <p>木くず類 → 焼却(縮減) → 中間処理(造粒・固可)</p> <p>コンクリート類 → 中間処理(破碎・分級)</p> <p>石膏ボード類 → 中間処理(破碎・分級)</p> <p>鉄くず類 → 有価物売却</p>
② 計 画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>上記の継続・徹底</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 6 年度 ）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量								
（これまでに実施した取組）									
自ら再生利用をしない。									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
（今後実施する予定の計画）									
自ら再生利用をしない。（再資源化施設への搬入）									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現 状	【前年度（ 6 年度 ）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	64.93 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量								
	(これまでに実施した取組)								
	焼却による削減 燃料用資材として一部売却								
	② 計 画	【目標】							
産業廃棄物の種類		木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量		60.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量									
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
燃料用資材（切断）の増量									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現 状	【前年度（ 6 年度 ）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器等	がれき類	建設汚泥		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量								
（これまでに実施した取組）									
解体材のうち、主として瓦のみ埋立									
② 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンクリート 陶磁器等	がれき類	建設汚泥		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量								
（今後実施する予定の計画）									
同 上									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンガラ 陶磁器 [※]	がれき類	建設汚泥			
	全処理委託量	120.00	5.00	6.00	1,000.00	11.00	0.50			
	優良認定処理業者 への処理委託量									
	再生利用業者 への処理委託量	120.00	5.00	0.00	1,000.00	11.00	0.50			
	認定熱回収業者 への処理委託料									
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者 への処理委託量									
	再生利用業者 への処理委託量									
	認定熱回収業者 への処理委託料									
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量									
	(今後実施する予定の取組)									
再資源化施設への積極的搬入及び埋立処分の減量化										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 面 について